

# 林檎の森

りんごのもり

2  
2021  
vol.463

特集 1

奥深い剪定作業 ～りんご作りは人作り～

特集 2 令和3年産りんご防除体系決まる

～共防連防除暦会議開催～

# 奥深い剪定作業

りんご作りは人作り

## りんご作りから学ぶ

よくりんご作りは人作りとあるが、なぜりんご作りは人作りであるのか、なぜみかんや野菜では聞かれないのか。

なぜなら、りんごは生産者の思想や性格がそのまま影響する果実と言われているからである。

りんごの品質の良し悪しの約7割は剪定で決まると言われており、経営も左右すると言われている事から、剪定した樹が生産者の人格を表わすと言っても過言ではない。

剪定には教科書が無ければ正解もない。自分の経験と、生産者との交流の中で技術や情報を共有し、剪定技術に改良を重ねていく。特に生産者の交流が剪定技術を磨くことに最も近いと言える。

また、生産者の交流の中で

この樹を人間に例えて説明することが良くある。「親父の顔色は樹の顔色」「自分の体調管理は樹の体調管理」といった言葉等を耳にする。

例えば後者であれば、自分の体調を崩してしまうと樹の体調管理をする人が居なくなることから、園主の体調管理は樹の体調管理に直接影響するという事である。

様々な剪定の師匠がいて流派も沢山あるが、「剪定技術が分からなくても、生産者の魂が入っていればいいりんごを採ることが出来る。」と、ふじ育ての親である齊藤昌美氏が話していたという。

## 剪定作業の重要性

現在、生産者は剪定作業の最中である。

剪定が今後の作業の省力や果実の品質、収量に直接かわり、経営にも大きく影響して来るため、思考を凝らしながら作業に取りかかっている。

剪定を行わなくてもりんごは成るが、それは色が赤く縞も入り、味にコクがあり、貯蔵性が優れているなど今のニーズに合ったりんごとは程遠いものになる。

今回は剪定が一番難しいとされているふじを基準に、剪定初心者の方が学んだポイントを簡単に紹介していきたい。



剪定の重要性と奥の深さを知る生産者らは、多くの剪定会などに参加し、様々な剪定技術や剪定の基礎、剪定の考え方を学ぶ。

## 切る枝と残す枝の基本

りんごの樹は暖かくなると根が動き始め、枝が育ち次第に葉が出て、大きささまざまな葉の様子を確認できる。そして徒長枝も出はじめることで、樹内へ日光が入らずに果実の着色不良へと繋がる。

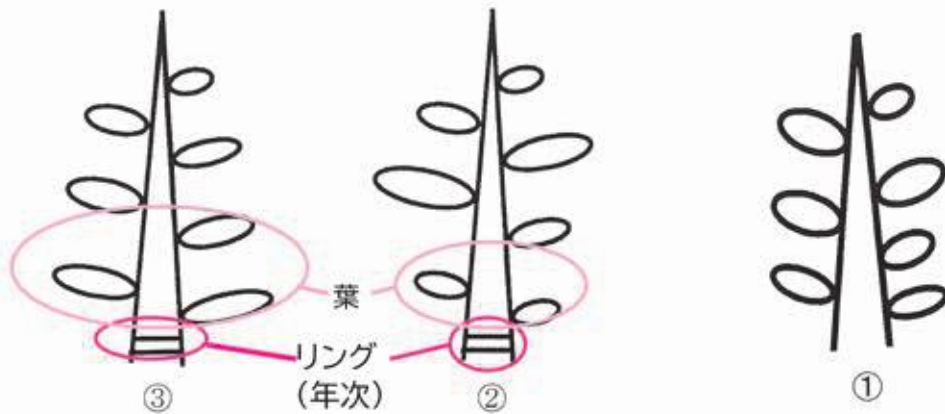
徒長枝を切ることにより、日光の入り等を良くするほか、樹に刺激を与え根を動かし、高品質果実の生産に繋がるという。

葉取作業や除袋作業等の農作業が忙しい中、徒長枝の切り落としを家族や人夫にお願いする場面もあるだろう。

そして、切り終わった後をみると、切るべき枝を残し、残すべき枝を切っている事があると言いつ話を耳にする。

徒長枝と言っても同じりんごの樹から出ている枝であるから、切る枝や切らない枝を判断するところに迷いが生じるのではないか。

そこで何を基準に徒長枝であり、切る枝なのか残す枝なのかを下図を見ながら、簡単にポイントを押さえていきたい。



### ポイント①

株元のリングが無く、枝が太く株元の葉が小さい枝は切るようにする。(徒長枝)

### ポイント②

株元にリングがあっても、元からの葉が小さい枝であれば、切るようにする。

### ポイント③

株元にリングがあり、元からの葉が大きい枝があれば切らずに残すようにする。

上図の②、③は発育枝という葉と芽だけを付けた枝であり、①は過剰に太くなった枝で徒長枝となる。これらのポイントを押さえた上で剪定する時には株元からしっかりと切り落とし、残す枝は一本ずつ残すのではなく群生(津軽弁で株ダ)で残すこともポイントとなる。また、冬季剪定でこのポイントを押さえて剪定するには前年の葉のつき方や、枝のつき方をよく観察しておく必要がある。

上図③の枝は芽を持ち子孫を生み出すという事から「女枝」と言われている。

反対に①の枝のように芽を持たない枝は「男枝」と言われ、②の枝は女枝だが基にある葉が小さい為「女男枝」と言われている。

このように枝一つにしても人に例えることができ、イメージが湧きやすい。生産者はりんご作業を人間とりんごの関係性を考えながら剪定作業を行う方もいるだろう。

このように、枝に限らず果実などを人間に置き換えた言葉が様々な言い伝えられている。



太く伸びた徒長枝

剪定の達人に  
聞いた

剪定する時に一番心掛けていることは??



五所地区

田澤 俊明 さん

若い頃齊藤昌美氏と何度も会ってお話しし、りんご栽培について多くの事を学んだと言う。

剪定するにあたって基盤としてやる事は??

「最低限のことはやる」というのは沢山あり過ぎて一番という事は無いが、強いて言うと果台枝は剪定しないで残しておくという事です。

果台枝は、果台の部分に養分が沢山貯蔵してある為、その枝は充実した生育を見込むことが出来ます。そのため、まず枝を見る時には果台枝を探します。

また、芽の大きさと数も切るか切らないかの判断材料になります。芽が小さいと男りんごになりやすいので、芽が数多くあっても他の芽よりも小さいと剪定することになります。芽の大きさはそこから出る葉の枚数が多いか少ないかも判断する事が出来ます。芽が大きいと葉を10枚ほど確保することが出来る。これらの事は常に意識してください。

剪定はまず葉をより多く確保する事を頭に入れ、そして摘花、摘果作業する時に摘むことになる箇所は剪定し、後の作業を省力化することも頭に入れて剪定していると田澤さんは言う。



剪定の際に判断に重要な果台（猿や兎、鹿などの好物）



同じ枝になった大きさが異なる芽

剪定している時に考えていることは何ですか？

「樹を人間に置き換えて考えています。例えば二本の枝が分かれていると、悪い人間かいい人間かという事に置き換えながら剪定しています。悪い人間（枝）というのは芽も抱かずに太く長くなってしまう、もつ一つの良い芽を持った人間に栄養がいかずに悪さをしている為、切り落としています。」

また、手を掛けた子供ほどよく育つというように、樹や枝にも手を掛ければ掛けるほど後に良い果実を実らせることが出来る。

常に樹と会話しながら剪定を行っています。」

今まで自分でやってきた剪定技術のノウハウを生産者で共有し、色々な意見の中で自分の答えを探しながら取り組んでいたが、一緒に学んできた人達は今まででもこれからも自分の宝物であると話した田澤さん。

これからも、この地域のりんご産業を絶やさない為に仲間と勉強し続けていきたいと意気込んで

いた。

最後に、剪定でもどんな作業であつても人が素直で謙虚でなければいいりんご作りは出来ないと話した。

「りんご作りは人作りから、という言葉は人として話を聞ける、感謝できるような人であること等、人間として当たり前な事を出来なければ、良いりんごは作れないことである。それができないと栽培管理も手を抜き、周囲の園地に迷惑をかけたり、剪定会などの研修に行っても話を聞けず、何年たつてもりんご作りは上手くない。」

生産者は、りんごの樹によつてご飯を食べさせてもらっているという気持ちで、感謝の念を持ちながら農作業に当たることにより良い経営にまで繋がる。」と田澤さんは熱心に語ってくれた。



女性向けの摘花講習会の開催で高品質りんご生産を



剪定会にて多くの生産者が学ぶ姿勢を見せていた

### 編集者の体験から

今回、私自身初めて剪定作業を体験させて頂いた。実際にどこを切るかどうかは園主の方に確認を取りながら作業したが、それでも切る瞬間には「ほんとにこの枝を切り落としてもいいものか。」と、勿体ない気持ちで頭をよぎり、なかなかスムーズに切り進めていく事が出来なかった。

しかし、この枝を一本切らない事で他の何本もの枝に弊害を及ぼすことになると考え方を变えることで、切り進めていくことが出来た。

私が体験させてもらったことはごく一部の事で、他にも長柄を使つての切り落とし、チェーンソーを使つての太い枝や胴木の切り落としなど他に作業があるが、田澤さんは一本の樹を丁寧に約1時間かけて終わらせると言つた。私が一本の樹を切ると一日はかかりそうなスピードであり、熟練の生産者の剪定技術に肌を通して感じる事ができた。

これからも生産者の「剪定道」に触れながら学んでいきたいと思ひます。

～ 共防連防除暦会議開催 ～



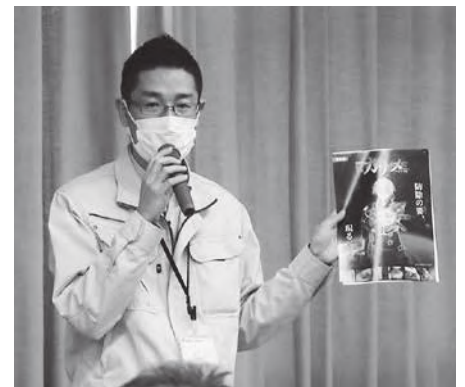
1月15日、本所にてJA相馬村共同防除組合連絡協議会が防除暦編成会議を行い、各共防長や役員等20人が訪れた。

初めに三上由紀夫会長が「昨年はフラン病の多発やダニの発生、日焼け果等の病害虫や障害に苦勞されたと思います。しかし黒星病については皆様の適期散布により発生を抑えることが出来ました。令和3年産も引き続き適期散布を徹底し、農作業事故には十分に注意して高品質りんごの生産に向けて取り組みましょう。」と挨拶した。

次に農業振興課から令和2年産に問題になった病害虫を振り返り、3年産の新しい防除体制が説明された。

同時に3年産から新剤が導入されたこと、6月中旬から15日以内の散布間隔とした事等が伝えられ、新剤について各関係メーカーから詳しく説明された。

参加した会員は、資料に目を通しながら変更点に注視し聞き入っていた。



今回導入された薬剤についての説明をするメーカー担当者ら



## 変更点の詳細について



### 殺菌剤の新規採用

去年までは殺菌剤として開花直前にオルフィンF、落花直後にユニックス顆粒とジマンダイセンを散布していたが、3年産からは開花直前にカナメF、落花直後にミギワ20Fとチオノックを基本として採用した。

理由として、前年使用していた剤よりも黒星病に対する防除価が高く、カナメFとミギワ20F共に治療効果も期待できる。

但し、以前使用していたインダー

等のEBU剤程の治療効果は期待できない為、予防散布を徹底して頂きたい。

また、ミギワ20Fは黒点病の登録がない為、チオノックと混用が必要になる。

昨年褐斑病が発生し、今年も褐斑病が心配される場合はミギワ20Fよりも防除価が高いとされるパレード15Fを選択する。

また、流通量不足が原因で防除剤に採用されなかったデランフロアブルは供給体制が整った為、「落果10日後」に再び採用した。

### 令和2年用防除計画

開花直前	オルフィンF 又は パレード15F
落花直後	ユニックス顆粒 ジマンダイセン



### 令和3年用防除計画

開花直前	カナメF 又は パレード15F
落花直後	ミギワ20F チオノック

### 去年問題になった病害虫に対応した薬剤の選択

今年の防除計画は、6月上旬からフラン病や輪紋病等に重点を置いた対策の薬剤が導入されている。

これらの病害は去年管内で発生が多く確認され、3年産も発生が懸念される為、適した薬剤の散布をして頂きたい。

また、7月下旬の殺虫剤として、収穫前日まで使用できるオリオン水和剤40を極早生品種に対応する為採用した。

ダニ剤に関しては、今まで使っていた基幹剤の抵抗性の発達が懸念される為、抵抗性が発達しにくいアカリタッチ乳剤を採用した。

この剤は、ハダニ類の気門をふさぎ窒息死させる作用の為、多くの散布量が必要となる。また、卵には効果が無く、1週間後頃には再度予察が必要になる。

### 薬剤散布の基本は忘れずに

今年から展葉1週間後頃から落花20日頃までは10日間隔で散布し、その後は6月中旬、7月上旬に合わせて15日以内での散布する体制としている。

黒星病に対する新しく導入した殺菌剤の散布は治療効果があり、防除価が高まったものを導入しているが、散布後に展葉した部分は効果が無い為、今まで同様雨前散布を徹底する必要がある。

生態が早まる可能性も考えられる為、落花40日後の特別散布も視野に入れておく。

また、去年もダニの発生が多く見られ、今年も越冬したダニの密度が高いため、予察を忘れずに行う事をお願いしたい。去年の初発を確認したのが5月末日であるため、そのころから予察の意識をもって作業を行って頂きたい。

今年も作業安全に高品質りんご生産に向けて、適期散布を心がけ、JAと一緒に取り組みましょう。

青年部は健康診断結果に基づく保健指導を本所で行い、受診した部員18名が保健師や栄養士から指導を受けた。

今年は、あらかじめ部員らに1週間の食事の写真を撮ってきてもらい、保健師の方々に食事のバランスをみてもらいながら、保健指導を行った。

部員らは保健師や栄養士の方に食事の取り方等を報告し、アドバイスを聞きながら自分の診断結果と向き合っていた。



驚きの診断結果に生活習慣を改める部員

1月21日、フルーツステーション会議室にて、青森県農林水産部食の安全・安心推進課安心推進グループが生産者8人を対象に「農業者の為のGAP推進研修会」をリモートで行った。

講師の(株)AGIC田上隆一代表取締役がGAP概論やGH農場評価について話した。

参加した生産者は、「改めて自分が当たり前の事を出来ていないと感じたので、少しでもGAP取得に向けて意識を改善していきたい。」と感想を述べていた。



GAP取得への道を学ぶ生産者ら

1月26日、弘前市立相馬ふれあい館にて、税務研修会及び第31回JA相馬村農業青色申告会通常総会が開催された。

前半行われた税務研修では住民税や国保税の仕組みについて、講師の薬師山正人税理士が笑いを交えながら会員に話していた。今回の研修のテーマに対して薬師山税理士は「すごくいいテーマを提案してくれたので、これから行う確定申告に上手く役立ててほしい。」と話した。

会員は「毎年開催している薬師山税理士による研修は、面白い話で例え話を交えるので、分かりやすく毎年楽しみにしている。」と述べていた。

その後通常総会が行われ、満江尚樹会長は「本年度の税制改正によるe-tax申告者の増加に伴い、若い方々の申告相談も増えております。本会においても全力でサポートし、電子申告の取り組み強化を図って参りたいと思います。」と抱負を述べていた。



総会の挨拶をする満江会長



研修を受ける38名の会員ら



topics

初のサンふじ  
ベトナム向け輸出

04

令和2年産から初めてサンふじのベトナム向け輸出が行われた。1月13日に初めて出荷され、その後2月2日迄に合計3回、567箱が輸出用アイスボックスに入れられ出荷された。

三上悟行販売部長は「これまで有袋ふじでの輸出は行っていたが、ベトナムには無袋と有袋の概念が無い為、無袋のリンゴの良さをこれだけアピールすることが出来るかがこれからの課題になると思うが、より多くの人に口にしてみたい。」「理解を深めてもらいたい。」と話した。



出荷を目前に検査を行う担当検査員

topics

作文・かべ新聞で  
優秀賞受賞

05

1月27日、弘前市立相馬小学校の3年生の児童7名が、「農業ふれあい教室作文・かべ新聞コンクール」にて作文の部、かべ新聞の部で優秀賞を受賞した。

この賞はJA女性組織協議会から贈られたものであり、受賞した児童らは「りんご栽培の楽しさを手く伝えられるように考えるのが大変だったが、この賞を受賞出来てとても嬉しい。」と喜びを語った。



優秀賞を受賞した児童ら

topics

広報お年玉企画  
当選者決まる

06

1月29日、広報正月号での豪華商品の抽選会を、本所にて行った。応募は約20件あり、その中から大場勉代表理事組合長と三上隆基専務理事が抽選を行った。

応募して下さったハガキには広報誌の感想やJAに対する意見、要望を書いており、貴重な声を頂くことが出来た。

「これから今回頂いた意見、要望を元に皆様に当JAを更に満足して利用して頂けるよう精進して参ります。」と大場組合長は話した。



A賞の2名のハガキを手にする大場組合長と三上専務

topics

## 確定申告相談会開催

07

2月3日、本所大会議室にてJA相馬村農業青色申告会は確定申告相談会を開催した。

初日には約30人の会員が訪れ、手書きやe-tax、ソリマチでの入力方法に分かれて取り掛かっていた。当会の7名の指導員は会員に寄り添いながら丁寧に相談に乗っていた。

次第に電子申告の方が増えていくのでスムーズに送信できるように進めていきたいと、指導員一同意気込んでいた。



情報を共有しながらパソコンと向き合う会員ら

ぜひ受けてもらいたい!

## 特定健診

今年度も弘前市国民健康保険に加入している40歳～74歳の方を対象に特定健康診査（特定健診）を実施しています。

特定健診は、生活習慣病の兆しを見るための健診で、糖尿病・高血圧・動脈硬化・脂質異常症・肝機能障害などの病気をみつけることができます。将来につながる大きなリスクを抑え、「健康寿命（自立して元気に過ごせる期間）」を延ばすためにも、年に1回受けましょう！  
では、特定健診を受けるには？

### ① 受診に必要なものを確認する

- ・保険証
- ・特定健診受診券

紛失した場合は国保年金課（Tel35-1116）までご連絡ください。再発行します。

### ② 予約する

医療機関に直接お申込みください。

健診を実施している医療機関は「令和2年度健康と福祉ごよみ」や弘前市のホームページで確認できます。今年度から板柳町の一部の医療機関でも受診できるようになりました。

### ③ 受診する

身体計測・血液検査・尿検査・血圧・心電図・問診  
1時間程度で終わります。

### ④ 結果を受け取る

健診は受けた後が肝心です。必ず健診結果を確認しましょう。

※75歳以上の後期高齢者医療制度加入者には後期高齢者健診を実施しています。

**【健診実施期間は令和3年3月15日までです】**

**受診の際は、新型コロナウイルスを含む感染症対策のご協力をお願いします。**

【担当】弘前市 健康こども部国保年金課 Tel 0172-35-1116（直通）

## **自動車税（種別割・環境性能割）の減免制度のお知らせ**

令和元年10月1日から、自動車税は「自動車税種別割」、自動車取得税は「自動車税環境性能割」に名称が変更されました。

身体障害者手帳、療育（愛護）手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方またはその方と生計を一にする方が、これらの手帳の交付を受けている方の生業、通院、通学などのために自動車を利用している場合で、その障害の程度や自動車の使用状況などが一定の条件に該当するときには、申請により自動車税（種別割・環境性能割）の減免を受けることができます。

詳しくは中南地域県民局県税部までお問い合わせください。  
※軽自動車税（種別割・環境性能割）については、市町村の税務担当課にお問い合わせください。

【問合せ先】中南地域県民局県税部 納税管理課 電話 0172-32-4341（直通）

# 果実販売動向

販売課 田中 瑠偉



12～1月の果実動向は、全般に数量増の単価安で推移しました。

ミカンについては主力アイテムとして食味良好で売り場は広く展開され、各産地が潤沢な入荷となりましたが、概ね保合いで推移しました。

イチゴについては、クリスマス需要で小粒系に一定の引き合いがありました。生食向けの大粒系は月を通じて潤沢な入荷となり荷動きの鈍い状況となりました。

一方、野菜については年内は全面安での展開で推移しましたが、その後の寒波の影響で年明け以降入荷が抑制され、一転して堅調価格となる品目が増加しました。緊急事態宣言を受けて飲食店等への供給が減少する一方、小売りでは常備野菜の引き合いに加えて、遠方野菜が物流に支障が生じたことから影響を受けました。

リンゴについては、贈答期を迎え入荷比率の低い上位等級品・高糖度・蜜入り等付加価値商品への

引き合いは強く堅調販売となりましたが、他県産の低位等級品の流通在庫が多いことから荷動きが極端に鈍く、二極化の展開となりました。

輸出については、輸出先での中生種の流通在庫が多いことや、春節が2月12日と比較的遅いことから荷動きは鈍い状況となりました。

加えて中国から各国への輸出が急増したことによる世界的な輸送用海上コンテナ不足により、台湾を中心に低調に推移していましたが、年明けからは1月下旬にかけて最盛期を迎え、順調に出荷されました。

国内については、他県産りんごの内部障害が懸念されることから年内でほぼ切り上がり、年明けが品薄傾向となったことから、企画の組みやすい状況となりました。

今後、ミカン・その他柑橘類については、順調な入荷が見込まれ、食味等品質が良好なことや値頃感から売場の中心となり、順調な販

売で推移する見通しです。

イチゴについても、安定した入荷が続く見込みのなか、売場は確保されていますが、小売価格が高めに設定されていることから荷動きの回復は見込めず、厳しい販売が予想されます。

リンゴについては、春節向けの輸出対応が落ち着いたことに加え、香港他がロックダウンしていることから国内向けへシフトされ、低位等級品中心に入荷増となり、厳しい販売が予想されます。

このようなことから、選果体制の効率化を図り、前進出荷を推進するとともに、コロナ禍により消費宣伝活動が制限される状況の中、つる割れ・ヤケ果等品質低下が懸念される低位等級品については、販促資材を積極的に事前提案し、りんごの売場確保・拡大に向け対策を講じることにより相場の底上げを図ります。

単価は全農あおもりデータ（1／31累計）、在庫数量は県りんご果樹課作成（12月末）

品 種	サンふじ	ふ じ	王 林	ジョナ	む つ	その他	合 計
単 価 (円)	2,924	5,077	2,865	2,860	5,463	2,770	2,776
前 年 比 (%)	90	97	93	92	114	93	95
在庫数量 (ト)	148,523	35,011	21,417	23,257	678	15,239	244,125
前 年 比 (%)	142	104	101	134	106	145	130

# 直売所「林檎の森」

副リーダー 三上翔平



いつも直売所「林檎の森」をご利用いただきありがとうございます。  
現在直売所では干し芋の販売をしております。原材料となつているサツマイモの品種「<sup>たまゆたか</sup>玉豊」は、茨城県で一番の生産量を誇る品種であり、全国の干し芋の8割を占めているといわれています。

このサツマイモの特徴は、名前の通り玉のようにまるく実が成り、味も昔ながらのスタンダードな昔懐かしいやさしい味となっております。噛めば噛むほど味わい深いのです。

歴史も古く今から約40年以上も前から生産されており、干し芋といえは玉豊といわれているほどです。  
薄くスライスされた干し芋がパックに350グラム入って300円(税込み)で販売しています。  
是非おいしい干し芋を試してみてくださいいかがですか？

※こちら大変人気な商品なので、納品が追いつかなくなり欠品することもありますがご了承ください。



大好評の干しいも

また干し柿や塩蔵野菜(高菜等)、塩蔵山菜(ふき、さもだし等)、漬け物(赤かぶ、大根)などの多くの種類の加工品も並んでいます。  
その中でも干し柿が人気で、多い方だと3〜5パックまとめて買っていく程です。

よくお客様から、干し柿の表面に付いている白い粉について問い合わせがあるのですが、白い粉は

柿の実の糖分が多く含まれていることにより、その果糖やブドウ糖が結晶化したもので、カビではありません。

甘味たっぷりの干し柿をいかがでしょうか？

りんごもたくさん店に並んでいます。サンふじや葉とらすサンふじ、王林、シナノゴールド、名月、金星など様々です。

※会員の出荷のタイミングや都合により、必ずしも先程述べた品種があるとは限りませんのでご了承ください。

そのほか、りんごを出荷される会員にお願いがあります。

たくさん蜜の入っているりんごは褐変や腐敗が多く見受けられるので、出荷してから日数の多いもの、切る割れの激しいものは出荷の際に引き取りするなど、目を通していただくと助かります。

雪が降る日が多いので、店内も大変すべりやすくなっています。転倒防止対策もしておりますが、お気をつけてお越しください。



多品種のりんごの旬な時期や特徴も売場にてアピール



色とりどりの漬物が店頭に並ぶ

# 地域おこし協力隊 活動記 Vol.69



ろうの垂れ具合で豊凶を占う450年の奇祭「沢田ろうそくまつり」の光景。(写真上段→)

「相馬365 (ミムコ)」の企画・撮影の一期生、そしてカレンダープロデュースの三期生のネームを入れさせていただきました！(写真下段→)



表紙にはたわわに実るりんごを♪ (↑写真中央)

(←写真上段) 年・月や曜日を入れていないので、永くご愛用していただける仕様に♪

(←写真下段) ねぶたを知っている人でも、この平面の状態を見ることができる機会はないのでは?!



こんにちは！ 協力隊の佐野です。  
今号は『弘前市相馬地区 日めくりカレンダー』完成のお知らせです！

去年は、コロナ禍という全く予期できなかった事態に世の中が直面し、私たちの活動にも様々な制限のあった一年でもありました。

しかしながら、今できることで地域を盛り上げられることはないだろうか？と考えることのできた一年でもありました。

コロナを機にテレワークが普及し始めた今は、一方でテレワークで働く絶好のタイミング」とも言われているんだそうです。

そこで、私達は相馬地区の魅力ある景色を、県内外の方々に知ってもらいたい！見てもらいたい！と今まで以上に強く思うようになりました。

一期生の方々が企画・撮影していた『相馬365 (ミムコ)』の写真を活用した日めくりカレンダー(卓上型)を作り、よそ者目線からみた相馬らしい風景や光景(一部相馬地区外もあり)を、地方移住希望者の方々にお届けしよう！と考え、作成に至りました。

完成したカレンダーは、相馬総合支所や御所温泉でご覧いただけますので、足をお運びいただけましたらとても嬉しく思います♪

(\*) 相馬地区公式HP (<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/soma/>)





農協の役員室。青森から頭の白  
いお客が来て雑談をしている。

白頭人「東京から出ている農協新  
聞に相馬村農協のことがデカデカ  
出ていましたな——。青森県の農  
協では、これまで無いことす  
な——」

油売り「オラ方の農協は組合員の、  
つながりが強いからな——」

白頭人「発つ鳥、跡を濁にごさす」  
という古訓があるけれども、アメ  
リカのランプ、選挙で負けたの  
に、引き際が悪かったな——」  
油売り「アレは悪あがきというも  
のか」

× × ×

白頭人「此処から参議院議員が選  
出された頃、いろいろ面白い発言  
がありましたよ。例えば西北の農  
協の総会で、或る組合員が「組合  
長！ 米が余って減反させられて  
いるから、例えば豚の栽培を奨励  
するとか！」

また、農協県連の或る会長が、

当時、マクロ的（巨視的）という  
言葉がはやった時で、連合会の総  
会で「マグロ的」と発言した。す  
ると、笑いのヤジが沢山出たが、  
そのヤジに対して津軽の或る組合  
長が「何がオガシインダ。マグロ  
はイワシより大きいのだ」と。（み  
んな大笑い）

× × ×

ヒゲを生やした某会長（農協県  
連）県庁へ行ってきたと、農協会  
館のエレベーターの中で私に「県  
庁の廊下で、トキワの能登谷が、  
ニューハッスルでニワトリが大変  
だと言っていた。どうした病気だ  
バ」と、私に。ニューカッスル病  
のことである。「ニューハッスル  
であればニワトリが元気づくこと  
ではありませんか」と言おうとし  
たが怒られるのでやめた。

その頃、もう一人の県連会長が  
「北村も山内もマンジヤグ（獣医）  
だべ。馬やベゴのこと知っている  
べ？ 津島知事がジャージー（牛）

白鬼容

その人

悪いのでなく

知らないのです

九五九

の導入で失敗したべ？ それを知っ  
ていながら北村と山内がヘリポー  
トを外国から買って来る？」  
（ヘリフォードのことである。「へ

リポートだと沖館港のことではあ  
りませんか」と言おうとしたが、  
怒られるのでやめた。）

編集部をつぶやき～編集後記～

いつも広報誌「林檎の森」をご講読頂き有難うございます。  
 雪が溶けてそろそろ春が来るのかと思いきや大雪が降るなど天候が  
 読めない日がありますが、農作業やお仕事お疲れ様です。  
 今年の節分の日が124年ぶりに2月2日という事で驚きました。24節  
 季が少しずつずれて2月2日になったと言います。なんだかプレミア  
 感があって特別な節分になったと思います。  
 今は集まって集合することが出来ませんが、それでもこの状況に対  
 応した生活スタイルにしていく努力をしようと思っています。  
 皆さんもお体には十分に気を付けてお過ごしください。 By tomoshi

理事会だより

1月21日(木)

- 1) 12月末残高試算表及び仮決算について
- 2) 組合員の脱退について
- 3) 組合員の名義変更について
- 4) 無料職業紹介所業務規程の一部変更について
- 5) J A ネットバンク利用規定の一部改正について
- 6) 不良債権四半期報告について
- 7) 貸付関係について
- 8) りんご販売関係について
- 9) 「今後のりんご取扱い」制定について
- 10) 固定資産の取得について
- 11) ポリ塩化ビフェニル (PCB) 期限内処理について
- 12) ライスセンター更新計画の全体方針について

パズル? 頭の体操

出題 ニコリ

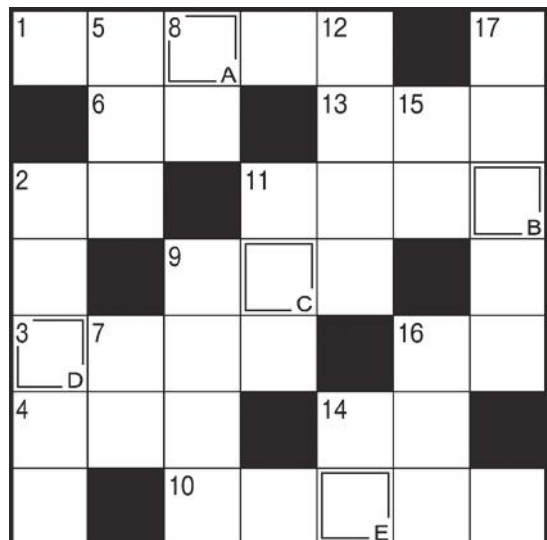
Q 二重マスの文字をA～Eの順  
 に並べてできる言葉は何でし  
 ょうか?

【タテのカギ】

- 2 速度違反の交通取り締まりをこう言っても  
 仏様の頭の渦巻き
- 5 名を捨てて——を取る  
 お清めにも使う調味料
- 8 田を描くときに使います
- 9 人数確認のために——を取った
- 11 ポビンに巻いてミシンにセットします
- 12 クロワッサンやコロネ、マフィンなど
- 14 コウゾやミツマタの繊維をすいて作ります
- 15 花より団子、色気より——なのです
- 16 三蔵法師の旅物語。堺正章主演のテレビドラ  
 マもありました

【ヨコのカギ】

- 1 桃の節句に付きものすし
- 2 体温計であるかどうか確かめます
- 3 理科で学ぶ動物プランクトンの代表格
- 4 難関を——して大学に合格した
- 6 恥ずかしいときに赤らめます
- 9 萩本欽一と坂上二郎のお笑いのコンビ、——55号  
 乳液や化粧水、パックなどを使って行います
- 11 「元気で留守がいい」と言っている人も
- 13 友人と——もない話で盛り上がった
- 14 円周率を表すギリシヤ文字
- 16 アスパラガスやウドは主にこの部分を食べます



答えは広報「林檎の森3月号」にて掲載いたします。

1月号の答え A:ユ B:キ C:マ D:ツ E:リ

# 表紙物語

今月号の表紙は、現在管内各園地にて盛んにおこなわれている剪定作業の様子である。

そんな中、各団体がそれぞれ主催する剪定会も行われている。

今回は2月1日に行われた、当JA冬期講座での剪定会での様子を紹介していきたい。

講師には、去年同様湯口地区の成田淳逸氏を招き、訪れた生産者に細かく説明をしながら剪定を行った。

成田氏は「今年成らせる枝、来年成らせる枝をしっかりと見極めて剪定していく事が大事。毎年剪定は勉強である。」と生産者らに話した。

女性生産者も訪れ、「いつか自分が剪定するべき時に備えるために、このような場に多く足を運んで学んでいきたい。」と述べていた。

また、電動ハサミの実演も行われ、切れ味や重さなどを体験していた。

今回の冬期講座の様子は来月号でも紹介させていただきます。



説明を行う講師の成田氏



生産者らに挨拶を述べる大場組合長



電動の剪定用品の力強さに驚く女性生産者



講師の手元と話に集中する生産者ら

JA相馬村広報

## りんごのもり 林檎の森

2021.2 Vol.463

■ 発行者  
相馬村農業協同組合  
〒036-1593 青森県弘前市大字五所字野沢23-1  
TEL.0172-84-3215 FAX.0172-84-3497

■ 編集  
総務課広報  
ホームページURL <http://www.ja-souma.or.jp/>  
e-mail:soumuka@ja-souma.or.jp

■ 発行日  
2021年2月17日

### JA 相馬村概況

〈令和3年1月末日現在〉

組合員数…………… 868人  
（うち准組合員数 …… 373人）  
出資金…………… 620,880千円  
貯金額…………… 10,082,736千円  
共済保有高……………3,254,958万円